

「諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の構成

基本目標

(1) 魅力あるしごとをつくる

- ◆ 地域の特性を生かした産業政策
- ◆ 地域産業を支える人材の確保

雇用創出数:5年間で500人

(2) 新しいひとの流れをつくる

- ◆ 移住者の受け皿の環境整備と情報提供
- ◆ 大学等との連携強化と地元企業への就職支援

平成31年度までに転入・転出者数を
均衡させる

(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 若い世代の経済的安定、ワーク・ライフ・バランス実現
- ◆ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援、子ども・子育て支援充実

出生数:5年間で6,300人
合計特殊出生率:平成31年度に1.9

(4) 時代に合ったまちをつくる

- ◆ 小さな拠点など安全・安心で持続可能なまちづくり
- ◆ 定住自立圏など広域連携の推進

「小さな拠点」の推進数:新たに2か所
定住自立圏の形成:1圏域

施策(大項目)

- ア 創業支援の推進
- イ 地域産業の競争力強化(分野別取組)
- ウ 本市での人材育成、雇用対策

- ・農産物ブランド化推進事業
- ・企業誘致事業
- ・大型商業施設の立地促進
- ・新産業団地整備事業

- ア 本市への移住の推進
- イ 企業拠点の立地促進、採用・就労拡大
- ウ 大学等と連携した人材育成、卒業生の定着化
- エ 多様なツーリズムによる新しいひとの流れの喚起
- オ 金融機関との連携による企業とひとの流れの加速化
- カ 本市の魅力発信の強化
- キ 多様な視点を持ったひとの活用

- ・空き家バンク活用促進事業
- ・宿泊観光促進事業
- ・シティプロモーション戦略推進事業

- ア 若い世代の経済的安定と結婚につながる場の創出
- イ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ウ 子ども・子育て支援の充実
- エ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現

- ・小児救急医療支援事業
- ・子ども医療費支給事業
- ・こどもの城子育て支援交流事業

- ア 市街地近隣・中山間地域等における活力ある経済・生活圏の形成
- イ 市街地における活力ある経済・生活圏の形成
- ウ 地域における安全・安心な暮らしの確保
- エ 人口減少を踏まえた既存施設等の適切な管理・活用
- オ 広域連携による経済・生活圏の形成
- カ 地域への誇り・愛着を高める地域づくりの推進

- ・「諫早版小さな拠点」推進事業
- ・防災行政無線第二次デジタル化整備事業
- ・公共施設等総合管理計画の策定・推進
- ・地域づくり協働事業

事業例

「諫早市長期人口ビジョン」

◆ 将来展望

2060年(平成72年)に
13万人程度の水準

- ・合計特殊出生率
2030年に2.07
2040年に2.11

・社会移動

国立社会保障・人口問題研究所推計から転入・転出を5%ずつ改善

◆ 基本的な考え方

- ① 人口減少に歯止めをかけ、人口構造を変えていく

「積極戦略」

- ② 今後の人口減少に対応する社会システムをつくっていく

「調整戦略」

上記①②を同時に推進

平成27~31年度(5か年)で実行